

【事業概要について】

神奈川県西部、酒匂川沿岸の文命用水路と酒匂川左岸用水路は、南足柄市から開成町、大井町、小田原市に広がる、740haにおよぶ優良な水田地帯を灌漑する基幹的農業用水路です。

施設の管理は、酒匂川右岸土地改良区及び酒匂川左岸土地改良区に委託していますが、土地改良区組合員の高齢化や後継者不足など厳しい状況にあるなか、水路に付帯する水門等の取水施設の老朽化にともなって、土地改良区の水管理労力は年々増加しています。

また、水門施設の大部分は手動開閉式のため、急な降雨による水路増水時の迅速な操作が困難な状況であり、操作の遅れによる周辺農地の湛水被害や住宅・公共施設への二次的被害が懸念されています。

本事業では、水管理の合理化・省力化を図るため、水門施設の改修とともに、カメラにより取水門を遠隔監視し、水門開閉の遠隔操作や自動転倒化を進めることで、水管理労力の軽減と、集中豪雨による溢水被害の発生を未然に防ぐことを目的としています。

【事業経過について】

本地区は、平成26年に国庫補助事業の採択を受けて、平成29年度までの4カ年で、酒匂川左岸用水関係の制水門の改修、取水堰の自動転倒化と、制御施設及び監視カメラの設置が完了する予定です。

【今後の計画について】

平成30年度以降は、酒匂川右岸用水路の第一高位部から武永田取水門までの6施設を遠隔制御するための、各水門への光ファイバの敷設と監視カメラの設置を計画しています。

これらの整備により、土地改良区の事務所や関係行政機関、或いは各水門管理者自宅のPCから、インターネットを介して水門の遠隔監視及び操作することが可能となり、農業生産に欠くことが出来ない農業用水路の維持管理に係る農家負担の軽減と、豪雨に対する周辺住民の安全確保が図られます。

